

平成21年度第4回石狩海浜植物保護センター運営委員会

日時:平成22年2月4日(木)13時30分～15時30分

会場:市役所202会議室

出席:石川 治、瀬野一郎、松島肇、安田秀子(会長)、萬谷優子、矢口勝征、渡邊千秋

事務局:有田英之(センター長)、内藤華子

傍聴者:なし

会議録

1.平成22年度事業について(資料1・3)

松島 「3.調査研究の3)海浜生態系データベースの整備」については、調査を新たに行うのか。

有田 新たな調査を行うのではなく、既存のデータや報告書からリストをエクセルファイル化する、従来個別のプリントものだったものを電子データとする、などしてデータの一元化を図る。
将来的にはHPに載せるような形でまとめていきたい。

石川 「4.環境整備の2)自然ふれあい:散策路の整備」で、以前はセンター～歴史公園～展望台～無辜の民～ヴィジターセンターをつなぐ散策路の構想があったかと思うが、延長は断ち切れになったのか。

有田 構想としてはあるが、労力的な問題と所有者の関係もあるので今は具体化できない。

矢口 「2.保全施策の3)シップ原生花園の保全」について、予算はどのくらい措置されたのか。

有田 22年度の予算要求はゼロ査定。22年度に保護区指定をするのであれば、看板設置や柵の補修をしないで現状のまま指定だけすることになる。
保護区化に向けた課題として、現在の「石狩川河口海浜植物等保護条例」の対象区域は河口地区に限定しているので、この条例を石狩市の海岸全体を対象にしたものに改正するか、人の立ち入りを規制する区域としない区域等保護のランクを設けるか、などを検討する必要がある。

矢口 シップ原生花園の植生に関する記録はあるのか。また調査は定期的に行っているのか。

有田 ボランティアで行った植生調査のリストはある。

安田 海浜植物等保護条例を改正する手続きはどのようなものか。

有田 改正案を当センターで作って、環境審議会に諮問し答申を受け、議決することになる。

矢口 一般の人の立ち入りを規制する方向か。

有田 まだ具体的な方向性は考えていない。規制の仕方を条例の中に盛り込んでいくかどうかから検討する。こういった植生があり、どのような保護の方法があるのかといった部分から検討していきたい。

萬谷 シップ原生花園は、車等が乗り入れて改変される前の本来の石狩浜の自然が残る、という意味で保全を目指すのか。

有田 そうだ。市の管財課が管理している市有地であり、指定にあたっては、他の関係部署との調整が生じてくる可能性もある。

松島 シップ原生花園の北東側の鎖がかかった砂利道も市有地か。

有田 国有地か市有地かはっきりしない。

松島 原生花園として人に見せる場合、車の駐車スペースの確保も問題になる。右岸地域は、砂浜地域の海浜植生も豊か。将来的な理想の話になるが、左岸地域と右岸地域をつなぐ自然案内マップができ、渡し舟を復活させるなどして、右岸と左岸を行き来できればと思う。

2. ふるさと海辺フォーラムについて（資料2・4）

内藤 日程については、講師の方の都合もあり、7月10日11日（土・日）としたいが、よいか。

全員 よい。

内藤 経費について、シンポジウム助成事業（総務省）助成金は不採択となった。

松島 参加を呼びかける団体として、鶴川河口で活動している団体など、海岸や河口域の野鳥の保全の関係で活動している団体にも声をかけてはどうか。

瀬野 市内の団体（鳥見の会、緑化推進協議会など）へも積極的に声をかけるべき。

松島 一日目の石狩浜視察・石狩浜の活動報告と、二日目の各地の活動報告・基調講演を入れ替えてはどうか。

有田 そのようにする。

松島 懇親会の中で、石狩浜の活動紹介をしたり、予めアナウンスして各参加団体から出し物を募る、参加者が自己紹介する、などしてはどうか。

内藤 検討する。

石川 PR は広報いしかりの表紙を使わせてもらう方法も検討してはどうか。

内藤 検討する。

安田 フォーラムの PR を兼ねたパネル展示を市役所ロビーなどで行ってはどうか。

内藤 ボランティア団体と相談して検討したい。

今後については、運営委員、ボランティアさんにもフォーラムのお手伝いの役割分担等を決めていきたいので、よろしくお願いしたい。

有田 日にちは7月10、11日で決定する。

3. その他

有田 景観保全作業の実施曜日を例年の平日から土曜日に変更してほしいという一部参加団体からの申し出があった。運営委員会として特に差し支えなければ、申し出の団体と再度確認して決めさせていただく。

内藤 北方菌類フォーラムが海浜性キノコに関して砂丘の生物多様性や保全についてアピールするフォーラムを企画したい、という申し出を受けているが、まだ開催については未定。先日助成金の申請をしたとの報告を受けた段階。

有田 開催にあたってはセンターは共催という形をとるが、費用面での負担はない。場所の提供や人手の支援は可能と伝えてある。

松島 海辺フォーラムと一緒にできないものか。

有田 場所や想定規模も異なり、難しいと思う。

安田 海辺フォーラムの中で発表してもらってはどうか。

内藤 打診する。

松島 「石狩海岸砂丘草原 車両走行調査状況」(資料5)について。表に車両走行台数をまとめた。走行台数は昨年に比べると少なかったものの、植生は回復せずに裸地が拡大しており、少数台数の車両走行でも植生にダメージが及ぶことが推測された。また、平日にはほとんど走行していないこともわかった。

有田 バギー車の走行は、カウンタ設置箇所が進入口から相当奥にあり、その手前で戻っているバギー

車もあるので、実際はもう少し多いかと思う。休日に 20 台ほどが集まっているのを見た。

松島 新年度は週末に絞って、2 箇所にかウンタを設置する。

石川 スノーモービルがはまなすの丘内の積雪深の浅い箇所を走っている形跡もあり、植生へのダメージが懸念される。

有田 はまなすの丘の木道延長工事について、秋に行った入札での応札者がゼロだったとの報告を河川管理者より受けた。再入札だと工事が春からの自然散策シーズンにかかるので、22 年の秋に延期してもらった。了解願いたい。

また、石狩浜の海岸保全について、行政評価局の行政評価委員会からの提案がまとまって、現在本省に確認している最中とのこと。関連して、札幌土木現業所が、海岸保全地域に車乗り入れ防止のための看板を A3 サイズのもの 6 本設置するとのこと。

安田 質疑なければこれで会議を終了する。

以上

平成 22 年 3 月 3 日

確認しました。

海浜植物保護センター運営委員会 会長 安田秀子